

青少年健全育成に関するアンケート調査結果

私学振興・青少年課

1 調査目的

県では、青少年育成支援の指針となる「第3次岐阜県青少年健全育成計画～ぎふ子ども・若者プラン～」を策定し、将来の岐阜県を担う青少年の健やかな育成と子ども・若者が社会生活を円滑に営むことができるようにするための支援に取り組んでいます。

そこで、青少年の健全育成に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の青少年育成支援施策の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター485人(うちインターネットモニター278人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和元年8月21日～9月4日

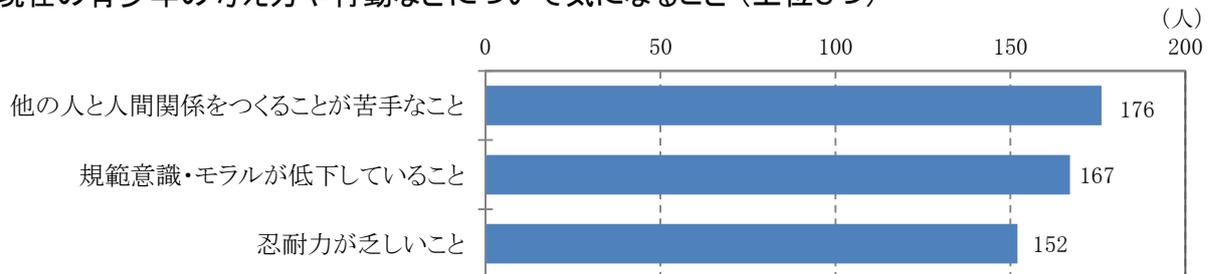
回収結果: 408人(回収率84.1%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

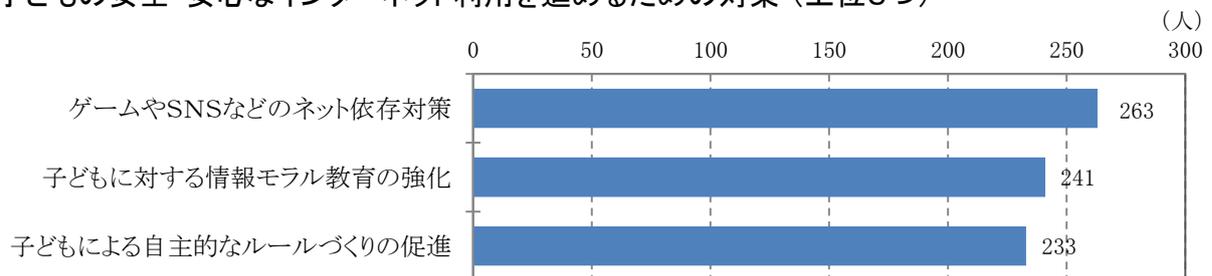
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

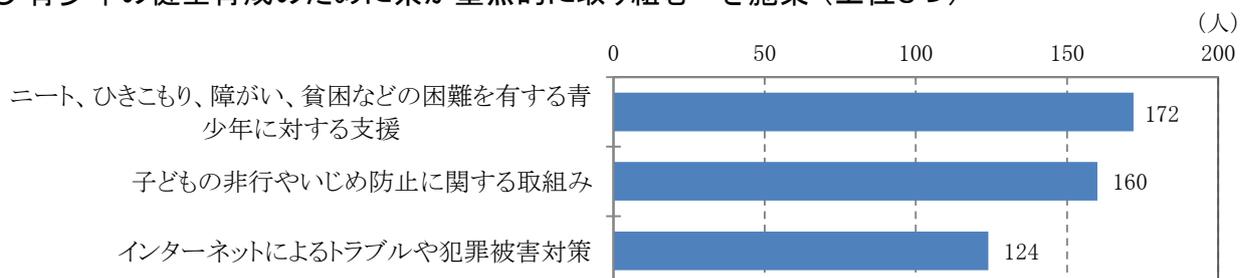
○ 現在の青少年の考え方や行動などについて気になること(上位3つ)



○ 子どもの安全・安心なインターネット利用を進めるための対策(上位3つ)



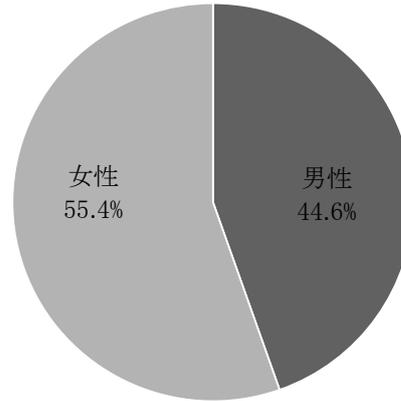
○ 青少年の健全育成のために県が重点的に取り組むべき施策(上位3つ)



4 回答者属性

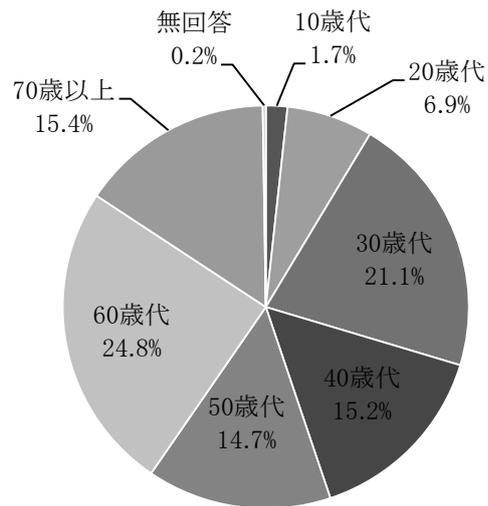
(1) 性別

	人数	割合
男性	182	44.6%
女性	226	55.4%
計	408	100.0%



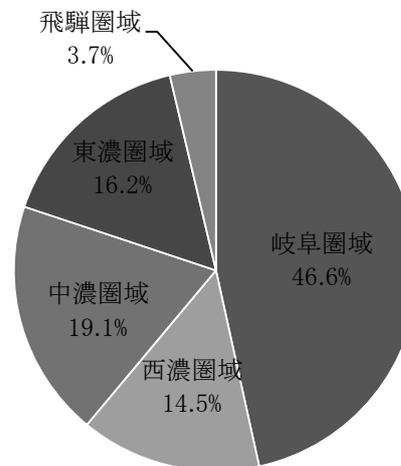
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	7	1.7%
20歳代	28	6.9%
30歳代	86	21.1%
40歳代	62	15.2%
50歳代	60	14.7%
60歳代	101	24.8%
70歳以上	63	15.4%
無回答	1	0.2%
計	408	100.0%



(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	190	46.6%
西濃圏域	59	14.5%
中濃圏域	78	19.1%
東濃圏域	66	16.2%
飛騨圏域	15	3.7%
計	408	100.0%

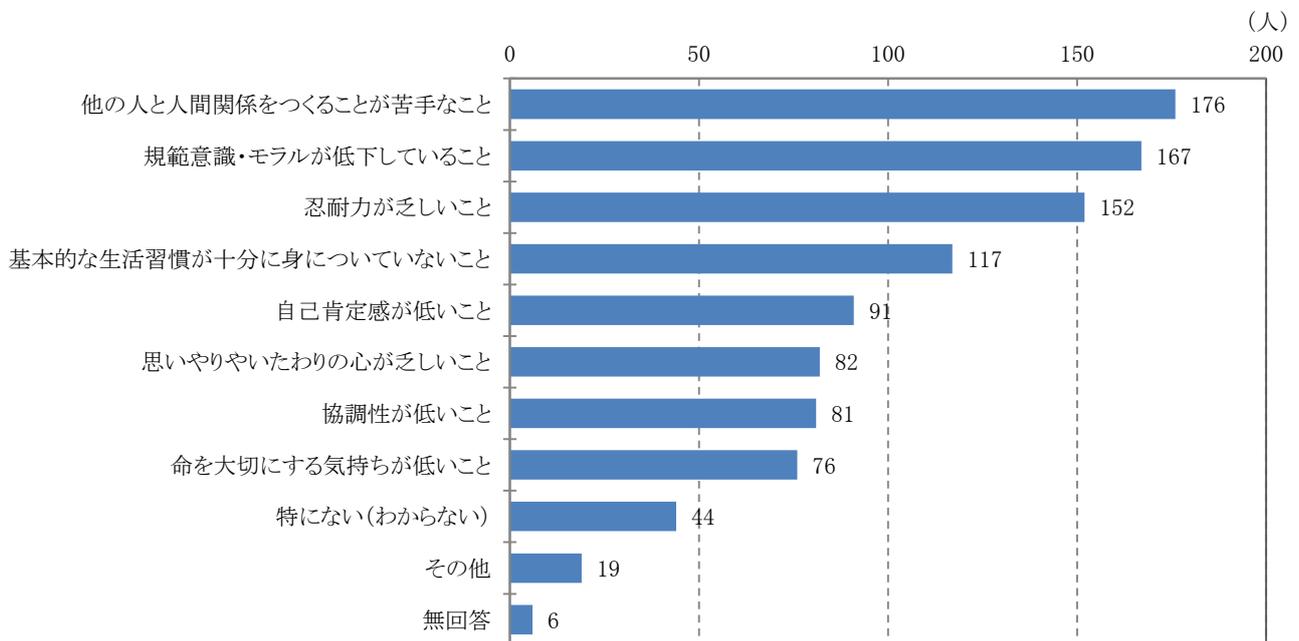


5 調査結果

問1 あなたは、現在の青少年(18歳未満の子ども及びおおむね30歳までの若者)の考え方や行動などに気になる点があるとすれば、どのようなことだと思いますか。

(複数回答) 回答者 408 人

	回答数	総回答数に占める割合	回答者に占める割合
他の人と人間関係をつくるのが苦手なこと	176	17.4%	43.1%
規範意識・モラルが低下していること	167	16.5%	40.9%
忍耐力が乏しいこと	152	15.0%	37.3%
基本的な生活習慣が十分に身につけていないこと	117	11.6%	28.7%
自己肯定感が低いこと	91	9.0%	22.3%
思いやりやいたわりの心が乏しいこと	82	8.1%	20.1%
協調性が低いこと	81	8.0%	19.9%
命を大切にすることが低いこと	76	7.5%	18.6%
特にない(わからない)	44	4.4%	10.8%
その他	19	1.9%	4.7%
無回答	6	0.6%	1.5%
計	1011	100.0%	-



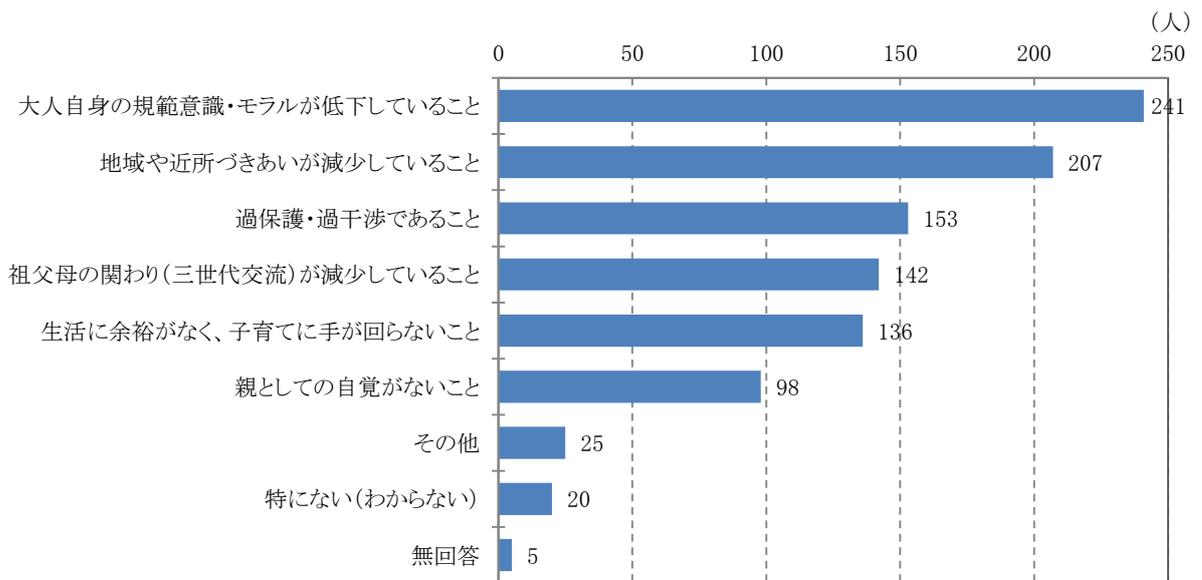
「その他」のうち主なもの

- ・ 両親への感謝の心
- ・ 自分で考えて行動する力が少ないように思う。
- ・ 縦の社会が苦手の様子あり。
- ・ 道徳心、一般常識が乏しい(公共スペースでの行儀が悪い)。
- ・ 規範意識・モラル・経済的な親子間・家庭内での負の連鎖が続いている。
- ・ 共働きの家庭が多く子どもが親と接する時間が少ない。親の働き方(正規雇用・非正規雇用)によって経済的に不安定さがある。
- ・ 意欲、貪欲性が足りない。挑戦しない。自ら見つける・発見する力が不足。人を否定しがち。自ら進んで行動できない(やってもらって当たり前)。

問2 あなたは、現在の保護者や家庭での教育に気になる点があるとしたら、どのようなことだと思いますか。

(複数回答) 回答者 408 人

	回答数	総回答数 に占める割合	回答者 に占める割合
大人自身の規範意識・モラルが低下していること	241	23.5%	59.1%
地域や近所づきあいが減少していること	207	20.2%	50.7%
過保護・過干渉であること	153	14.9%	37.5%
祖父母の関わり(三世代交流)が減少していること	142	13.8%	34.8%
生活に余裕がなく、子育てに手が回らないこと	136	13.2%	33.3%
親としての自覚がないこと	98	9.5%	24.0%
その他	25	2.4%	6.1%
特にない(わからない)	20	1.9%	4.9%
無回答	5	0.5%	1.2%
計	1,027	100.0%	-



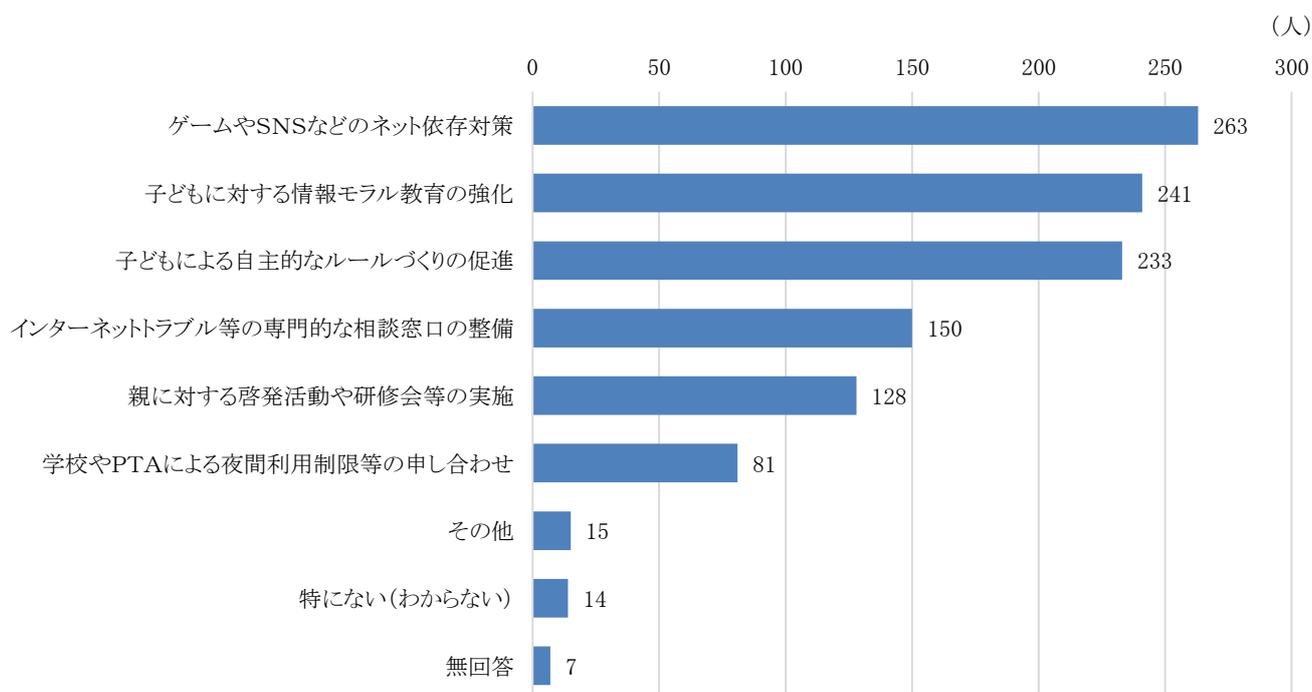
「その他」のうち主なもの

- ・ 学校教育等に責任を押し付けすぎている気がする。
- ・ 特に生活に余裕がないのが気になります。
- ・ 隣近所の関係が薄く、近所のつながりがよくわからない。
- ・ 親としての自覚というより我慢がないように思う。
- ・ 親も子供も基本的な挨拶ができていない人が多い(学校の先生にはしますが…)。
- ・ 多くの情報があり過ぎてほんろうされてしまう。

問3 県では、18歳未満の子どもによる携帯電話のインターネット利用について、フィルタリングの利用を促進してきました。あなたは、今後さらに子どもの安心・安全なインターネット利用を進めるために、どのような対策が必要だと思いますか。

(複数回答) 回答者 408 人

	回答数	総回答数 に占める割合	回答者 に占める割合
ゲームやSNSなどのネット依存対策	263	23.2%	64.5%
子どもに対する情報モラル教育の強化	241	21.3%	59.1%
子どもによる自主的なルールづくりの促進	233	20.6%	57.1%
インターネットトラブル等の専門的な相談窓口の整備	150	13.3%	36.8%
親に対する啓発活動や研修会等の実施	128	11.3%	31.4%
学校やPTAによる夜間利用制限等の申し合わせ	81	7.2%	19.9%
その他	15	1.3%	3.7%
特にない(わからない)	14	1.2%	3.4%
無回答	7	0.6%	1.7%
計	1132	100.0%	-



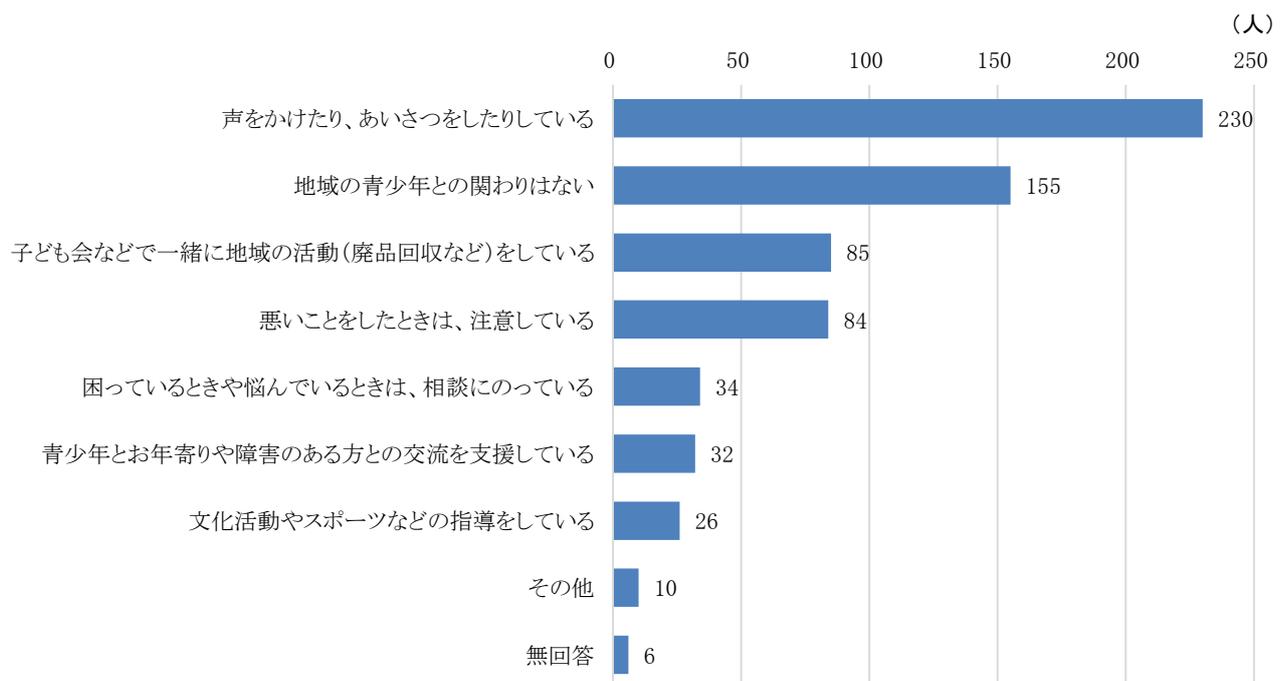
「その他」のうち主なもの

- ・ 入学式など参加率の高い保護者の機会をとらえ、情報モラルの講座を開いてみてほしい。
- ・ インターネット、ゲーム、SNSなど、親が毎日チェックし、子どもと親が話し合いをする。
- ・ スマートフォンそのものに規制を設ける(22時以降は使えないとか)。
- ・ 親のスマホなどをむやみに使わせない。
- ・ 勉強も大事だがいろんな経験体験が一番大切！
- ・ 親世代の再教育も必要。

問4 あなたは、地域の青少年とどのような関わり方をしていますか。

(複数回答) 回答者 408 人

	回答数	総回答数 に占める割合	回答者 に占める割合
声をかけたり、あいさつをしたりしている	230	34.7%	56.4%
地域の青少年との関わりはない	155	23.4%	38.0%
子ども会などで一緒に地域の活動(廃品回収など)をしている	85	12.8%	20.8%
悪いことをしたときは、注意している	84	12.7%	20.6%
困っているときや悩んでいるときは、相談にのっている	34	5.1%	8.3%
青少年とお年寄りや障害のある方との交流を支援している	32	4.8%	7.8%
文化活動やスポーツなどの指導をしている	26	3.9%	6.4%
その他	10	1.5%	2.5%
無回答	6	0.9%	1.5%
計	662	100.0%	-



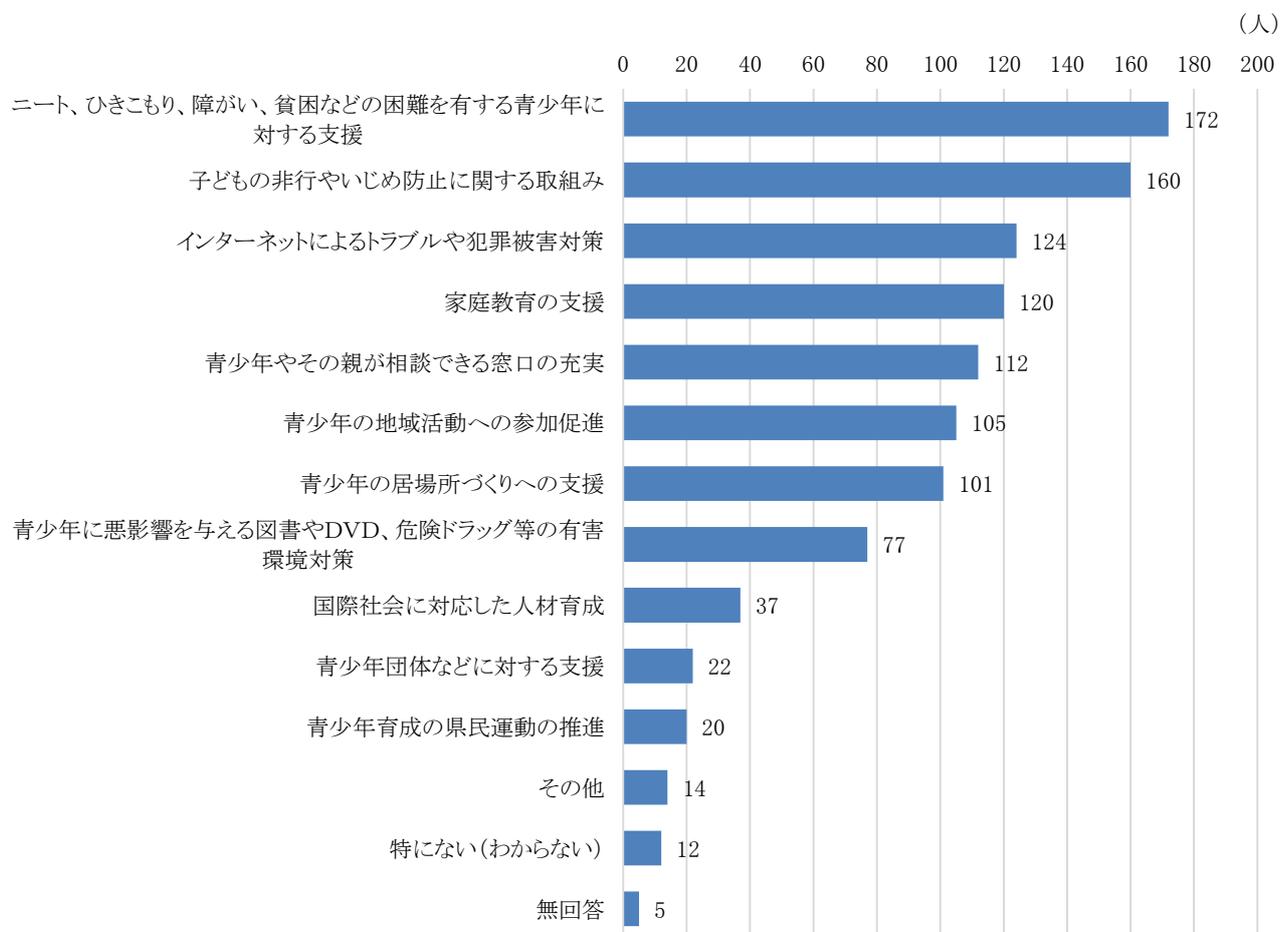
「その他」のうち主なもの

- ・地域の活動に参加して、地域の方々とかかわるよう、心がけています。
- ・小・中学生の登校時の見守り活動(全登校日対応)
- ・地域で行われている運動会、夏祭りのお手伝いをしています。
- ・ラジオ体操 20年継続(年中)

問5 あなたは、青少年の健全育成のために、県はどのような施策に重点的に取り組むべきだと思いますか。

(複数回答) 回答者 408 人

	回答数	総回答数 に占める割合	回答者 に占める割合
ニート、ひきこもり、障がい、貧困などの困難を有する青少年に対する支援	172	15.9%	42.2%
子どもの非行やいじめ防止に関する取組み	160	14.8%	39.2%
インターネットによるトラブルや犯罪被害対策	124	11.5%	30.4%
家庭教育の支援	120	11.1%	29.4%
青少年やその親が相談できる窓口の充実	112	10.4%	27.5%
青少年の地域活動への参加促進	105	9.7%	25.7%
青少年の居場所づくりへの支援	101	9.3%	24.8%
青少年に悪影響を与える図書やDVD、危険ドラッグ等の有害環境対策	77	7.1%	18.9%
国際社会に対応した人材育成	37	3.4%	9.1%
青少年団体などに対する支援	22	2.0%	5.4%
青少年育成の県民運動の推進	20	1.9%	4.9%
その他	14	1.3%	3.4%
特にない(わからない)	12	1.1%	2.9%
無回答	5	0.5%	1.2%
計	1081	100.0%	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 地域全体で児童・青少年を見守る、育成する体制づくり。
- ・ 地域のシルバー世代に青少年健全育成委員としてがんばっていただく(元教員は×)。
- ・ 道徳教育に力を入れる。親の啓蒙も必要。
- ・ 規範意識・モラル・経済的な親子間・家庭内での負の連鎖を断ち切る施策を充実させる。
- ・ 夏休みなどに農業体験、学校でも勉強の一つとして体験学習が必要な気がします。
- ・ 指先だけの小さな世界にはまらないような生活を進める。

問6 その他、県の青少年健全育成施策に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。

- ・朝、子供たちに声をかけると返事がある子とない子がいるのが気にかかる。
- ・学校生活での集団生活になじめない子が多くなっているように感じます。無理やり学校に行かせようとしても逆効果です。そういう子どもが気軽に行けるような場所をもっと充実させることが必要と思います。
- ・40代50代の親たちは仕事に忙しすぎるし、価値観が多様化しているので大変です。子どもが3歳まではゆったりとした時間で子育てができると良いと思います。
今、子どもたちはインターネット、SNS、スマホの利用が低年齢化しているのがとても気になります。私自身はもっと子どもを守るためならば規制すべきという考えです。学校も協力して子どもを守ることが必要かと考えます。
- ・子どもは地域の宝としてみんなで守ってほしい。
- ・人に迷惑をかけない、やって良いことと悪いことが分かる子供に育つ、心づくりが大切だと思う。
- ・学歴差別(評価)でなく人間性重視、それを認める環境づくりによって生きていく力を育てていきたい(家族家庭、職場)。
- ・命の大切さは学校だけでなくむしろ乳幼児教育の中にしっかりとうえつけていきたいものです。食育の中での食物の命も大切、それ以前に自分の命は自分で守るという意識を高める。
- ・学童・学年以外、小中学生の集う場所、宿題や夕食を食べられる場所の提供、提供者の支援(地域活動として助成する)
- ・学校教育の充実、教職員の人材の育成向上(そのため待遇改善を図り、優秀な人材を確保し、その取り組みを見守る立場で)
- ・県だけの問題ではないが、子供たちが将来働くようになり、結婚して安心して子育てができる環境、正規雇用・非正規雇用といった格差のない社会を期待したい。